

目次

[概要](#)

[AsyncOS は SNMP モニタリングをサポートしますか。](#)

[関連情報](#)

概要

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) トラップが AsyncOS によってサポートされるこの資料は記述します。

AsyncOS は SNMP モニタリングをサポートしますか。

SNMP による Cisco AsyncOS オペレーティングシステムサポート システム状態 モニタリング。 AsyncOS は SNMPv1、v2 および v3 をサポートします。

これには Cisco の企業 管理情報ベース (MIB) が、ASYNCOS-MAIL-MIB 含まれています。 ASYNCOS-MAIL-MIB は管理者がシステム状態を監視するのをよりよく助けます。 さらに、このリリースは RFCs 1213 および 1907 年で定義されたように MIB-II の読み取り専用サブセットを設定します。 (SNMP に関する詳細については、RFCs 1065、1066、および 1067 を参照して下さい。)

注意点 :

- SNMP はデフォルトで消えています。
- SNMP 集合操作 (設定) は設定されていません。
- パスワード認証および DES 暗号化を用いる SNMPv3 の使用はこのサービスを有効にして必須です。 (SNMPv3 に関する詳細については、RFCs 2571-2575 を参照して下さい。)
SNMP システム状態 モニタリングを有効にするために少なくとも 8 文字の SNMPv3 パスフレーズを設定するために必要となります。 SNMPv3 パスフレーズを入力する時最初に、確認するためにそれを再入力して下さい。 `snmpconfig` コマンドはコマンドを実行する時次にこの句を覚えていません。
- SNMPv3 ユーザ名は次のとおりです: v3get.
- SNMPv1 か SNMPv2 だけ使用する場合、コミュニティ スtring を設定して下さい。 コミュニティ String はパブリックにデフォルトで設定されません。
- SNMPv1 および SNMPv2 に関しては、SNMP GET 要求が受け入れられるネットワークを規定して下さい。
- トラップを使用するために、SNMP マネージャは (AsyncOS に含まれていない) トラップ ターゲットとして入力される動作したに、IP アドレスちがいありません。 (ホスト名を使用できます、DNS がはたらく場合その時だけトラップははたらきます。)

アプライアンスのための SNMP システム状態を設定するために `snmpconfig` コマンドを使用して下さい。 インターフェイスの値を選択した、設定する後、アプライアンスは SNMPv3 GET 要求に応答します。 これらのバージョン 3 要求はマッチ パスワードを含む必要があります。 デフォルトで、バージョン 1 および 2 要求は拒否されます。 有効にされた場合、バージョン 1 および

2 要求は一致するコミュニティ スtring がなければなりません。

シスコシステムズはエンタープライズ MIB、また管理情報の構造 (SMI) ファイルを提供します:

- ASYNCOS-MAIL-MIB.txt - Cisco アプライアンスのためのエンタープライズ MIB の SNMPv2 互換性のある説明。
- IRONPORT-SMI.txt - IronPort の ASYNCOS-MAIL-MIB のロールを定義しますか。s SNMP によって管理される製品。

MIB ファイルは両方とも [Cisco E メール セキュリティ アプライアンス 製品サポートページ](#) から取付けることができます。

ヒント : www.mg-soft.com から利用できます。

SNMP モニタリングに関する詳細については電子メール ユーザガイドの CLI 章によって管理し、モニタリングを参照して下さい。

関連情報

- [Cisco E メール セキュリティ アプライアンス エンドユーザ ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)